

議会のあり方調査特別委員会・企画調整部会記録

開 会 年 月 日	令和3年9月17日
開 会 時 刻	午前10時50分
閉 会 時 刻	午前11時15分
出 席 委 員 名	◎西山則夫 ○品川幸久 福井輝夫 辻 孝記
	吉井詩子 久保 真 吉岡勝裕 楠木宏彦
	浜口和久（議長）
欠 席 委 員 名	—
署 名 者	西山則夫
担 当 書 記	中居 渉
協 議 案 件	1 高校生アンケートの集計結果について
	2 皇學館大学との連携について
	3 その他
説 明 員	議会事務局長、次長、議事係長、調査係長、
	議事係書記、調査係書記

会議の概要

西山会長の開会宣告の後、直ちに会議に入り、「高校生アンケートの集計結果について」及び「皇學館大学との連携について」を議題とし、それぞれ広聴検討分科会会長から報告を行い、議会のあり方調査特別委員会へ報告することを確認した後、「その他」の事項として「議会のあり方調査特別委員会の新体制について」事務局から説明があり、議会のあり方調査特別委員会へ提案することを確認し、閉会した。

なお、詳細は以下のとおり。

開会 午前10時50分

◎西山則夫会長

ただいまから議会のあり方調査特別委員会企画調整部会を開会いたします。

本日の出席者は全員でありますので、会議は成立しております。

これより会議に入ります。

本日御協議いただきます案件は、お手元の事項書のとおりです。

それでは、「高校生アンケートの集計結果について」御報告をいただきます。

吉岡会長。

○吉岡勝裕広聴検討分科会会長

それでは、高校生アンケートの集計結果につきまして御報告をさせていただきます。

広聴検討分科会では、高校生議会に代わる新たな取組として、7月1日木曜日から30日金曜日まで「高校生アンケート」を実施し、集計結果の公表に向けて協議を重ねてまいりました。

資料1の集計結果・案を御覧ください。

1ページの上段、回答者の「性別」ですが、女性247名、男性167名などとなっており、合計443名の方から回答を頂きました。

次に、下段の回答者の「高校」ですが、市内7校から回答を頂きました。高校名につきましては、回答を頂けなかった高校への配慮から、A校からG校と表記することとし、実名での公表は控えたいと考えております。

次に、2ページの上段、回答者の「お住まい」ですが、伊勢市にお住まいの方が261名で58.9%を占めており、次に志摩市が52名で11.8%などとなっております。

次に、下段は「高校や大学を卒業後も現在お住まいの市町に住みたいですか」という質問項目です。当初は市町別での掲載を検討しておりましたが、他市町への配慮から、伊勢市にお住まいの方と他市町にお住まいの方の二つに分け、比較いただけるよう集計を行いました。伊勢市にお住まいの方は、他市町にお住まいの方に比べると、「住みたい」と回答した方の割合が高くなっております。

次に、3ページの上段は、「将来なりたい仕事、就職先は現在お住いの市町にありますか」という質問項目です。こちらにつきましても、伊勢市にお住まいの方と他市町にお住まいの方の二つに分け、比較いただけるよう集計を行いました。伊勢市にお住まいの方は、他市町にお住まいの方と比べると、「ある」と回答した方が割合が高くなっております。

次に、下段の「伊勢市のことについて」は、(1)から(7)の質問項目別に集計を行いました。(1)の「図書館やスポーツ施設など、暮らしに役立つ建物が充実していると思いますか」、(2)の「街並みがきれいだと思いますか」、(7)の「観光客や移住等の希望している方にとって魅力あるまちだと思いますか」という質問項目については、「そう思う」と回答した方が40%以上となっており、他の質問項目と比べると割合が高くなっております。反対に(4)の「電車やバスなど公共交通機関が充実していると思いますか」、(6)の「飲食店や娯楽施設などの楽しいお店が充実していると思いますか」という質問項目については、「そう思わない」と回答した方が30%程度となっており、他の質問項目と比べると割合が高くなっております。

次に、4ページ及び5ページは、「伊勢市がもっと魅力あるまちであるために何が不足していると思いますか」という質問項目で、自由記入の意見を掲載しております。4ページにつきましては複数名以上の意見を掲載し、同様の意見は集約の上、文言を調整して、意見数の多い順に掲載しております。5ページにつきましては基本的にお一人の意見であり、原文に近い状態で掲載をしております。

主な意見としましては、「娯楽施設を増やしてほしい」が37名、「公共交通機関を増やしてほしい、交通の便を良くしてほしい」が29名、「買い物をする場所、店を増やしてほしい」が26名などとなっており、「特にない」と回答した方も27名ありました。他の意見につきましては後ほど御覧いただきたいと思います。

次に、6ページの上段は、「議会や議員の活動に関心や興味があるか教えてください」という質問項目です。関心や興味が「ない」が33.4%で最も多く、次いで「あまりない」が24.8%などとなっております。

次に下段は、先ほどの質問項目で「ない」、「あまりない」と回答した方に「関心や興味がない理由について教えてください」という質問項目です。「議会が何をするとところか分からない」が31.8%で最も多く、次いで「議員がどんな人か知らない」が30.7%などとなっております。

次に、7ページの上段は、「コロナ禍で困っていることについて教えてください」という質問項目です。「学校行事の中止や制限等がある」が44.0%で最も多く、次いで「私生活の制限等がある」が22.5%などとなっております。

次に下段は、先ほどの質問項目で「その他」と回答した方に「どのようなことで困っているかを記入してください」という質問項目で、自由記入の意見を掲載しております。

「特に困っていない」が7名で最も多く、次いで「県外や都市圏などへの遠出ができない、遊びに行けない」が4名、その他は基本的にお一人の意見ですが、「アルバイトが始めづらい」という意見や「子どもに守れと言うならまず大人が守れよ、手本になれよと思う」といった辛口の意見もございました。

最後に8ページは、「伊勢市について意見や提案等がありましたら自由に記入してください」という質問項目で、こちらも自由記入の意見を掲載しております。「特にない」が14名で最も多く、その他は基本的にお一人の意見ですが、「税金を若者にもよく分かる形で使ってほしい」や「登下校時のバスと電車の車両を増やしてほしい」、「もっと図書館にお金をかけてほしい」のほか、「スケボーパークが欲しい」、「ストリートのバスケットコートが欲しい」などの意見もありました。

資料1の集計結果・案につきましては説明をさせていただきましたが、御了承をいただきましたら市内9校へ送付するとともに、伊勢市議会ホームページや議会だよりで公表したいと考えております。

また当初、これらの集約した意見等につきましては、必要に応じて市長への提言または政策立案等の参考にしていただく考えでしたが、当分科会としては、市長への提言は行わず、今後の各議員の議会活動や政策立案等の参考にしていただきたいと思いますと考えております。

以上、広聴検討分科会から「高校生アンケートの集計結果について」の報告とさせていただきます。

企画調整部会におかれましても、当分科会の意向に御賛同いただきますようよろしくお願いいたします。ありがとうございました。

◎西山則夫会長

はい、ありがとうございました。

ただいま御報告をいただきました「高校生アンケートの集計結果について」、御発言がありましたらお願いをしたいと思いますのですが、いかがでしょうか。

辻副会長。

○辻孝記条例等分科会副会長

この結果というのは、各学校にも一応報告はされたということで。

◎西山則夫会長

吉岡会長。

○吉岡勝裕広聴検討分科会会長

まだです。これからということで、御了承いただいたらということで、報告をさせていただきます予定です。以上です。

◎西山則夫会長

辻副会長。

○辻孝記条例等分科会副会長

分かりました。学校のほうがこれでオーケーならいいんですけど、ちょっとこんな困るわというのがもしあればですね、掲載するのを考えないといけないと思いますので、事前に確認だけお願いしたいと思いましたもんですから。

◎西山則夫会長

他に御発言はございませんか。

はい、吉井会長。

○吉井広報検討分科会会長

すごく立派な結果が出たわけなんですけど、市長への提言などは行わないとなったその議論の経過をちょっと教えていただけますか。

◎西山則夫会長

吉岡会長。

○吉岡勝裕広聴検討分科会会長

広聴検討分科会の中でそういった、この取り扱いにつきましてどうしましょうかという、質問等みんなで協議をさせていただいたんですけども、その中で、高校3年生だけの意見であるということであったり、それ以外も様々な意見等がありまして、市長への提言をするまではいいのではないかということから、皆さんにお諮りさせていただきましたところ、それでいこうということになりました。以上です。

◎西山則夫会長

吉井会長。

○吉井広報検討分科会会長

そうすると、もともとの目的は、議会のほうから提言をしようというそういう目的ではなく、意見を聞きたいということが目的だったということですか。

◎西山則夫会長

吉岡会長。

○吉岡勝裕広聴検討分科会会長

アンケートをさせていただいたときには、そういったところは載せさせてはいただいとおったんですけども、ちょっと読まさせていただきますけども、アンケート結果の公表等についてということで、集約した意見等については必要に応じて市長へ提言または政策立案等の参考にするとともに、伊勢市議会のホームページ等で公開させていただきます、とさせていただいております。当初、私としても提言までできるといいかなというふうには思っていたんですけども、なかなかこの意見をですね、集約していくとなってくると、またその難しいところもあるのかなというところへんから、広聴検討分科会のほうでも皆さんそういった形の議論の中で、提言についてはということになり、またそれとは別にですね、やはり議員の皆さんにはこういった高校生の意見を反映できるような何かまた考えを持っていただきたいというふうな形で進めてはどうかということを進めさせていただいてまいりました。以上です。

◎西山則夫会長

よろしいですか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

◎西山則夫会長

政策提言というのはかなり難しいものがあって、提言だけならいいんですけど、それを求めていくとかなり難しい。例えば以前、高山市の市議会へ行ったときに、高校生の皆さんが、地元で働くところがないというのを議会に提言がありましてですね、それでかなり努力をされて、一定は解決したんですけど、やはり土地的な問題とかがあって全て解決できない、伊勢もそうだろうと思うんですけども、ここに働きたい希望はあるけども、なかなか現実的にはそうになっていないということがあるので、そういうところも加味してですね、今後の課題に、我々の課題として市当局にどうやっていくか、これはいつもやっていただいているのでいいことなんですけど、そういったことも、高校生の気持ちもありますよということも伝えていく必要があるのかなと思っていますので、これはぜひ議員皆さんの個人の議会活動の中で消化をしていただくということが一番いいのかなとは私自身思いますので、そういうところで収めていただければと思います。

はい、副会長。

○品川幸久副会長

さきほど、提言はしないということなんですけど、本来なら市当局もこういうアンケートを採るのが当たり前のことであってですね、議会がやったところこういう意見が出ましたと、参考としてこのデータを市の当局にも渡して、参考にしてくださいというようなことぐらいはやってもいいと思うんで、その点、皆さんに聞いていただければいいと思うんですけどね。

◎西山則夫会長

それでは今、副会長のほうからそういう申し出がございましたので、この結果について、議長を通じて当局のほうへ提出をして、今後の参考にしていただくようにということで申し添えてよろしいですか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

◎西山則夫会長

はい、ありがとうございます。

その他、御発言はございませんか。よろしいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

◎西山則夫会長

御発言もないようですので、広聴検討分科会からの報告のありました「高校生アンケートの集計結果について」は、議会のあり方調査特別委員会の全体会で御報告をいただくことに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

◎西山則夫会長

御異議なしと認めます。そのように決定をいたしました。

次に、「皇學館大学との連携について」御報告をいただきます。

広聴検討分科会、吉岡会長。

○吉岡勝裕広聴検討分科会会長

それでは、皇學館大学との連携につきまして御報告を申し上げます。

広聴検討分科会といたしましては、皇學館大学との連携につきまして協議を重ねてまいりました。

皇學館大学との連携につきましては、平成28年度に意見交換の実施に向けた協議を開始し、平成29年度にはC L L活動「みんなの声を聞くには？プロジェクト」を連携し、「聞こう！話そう！市議会議員！」と題した意見交換イベントを開催いたしました。

また、令和元年度には「高校生議会」の議長役を務めていただくなど、若者の意見や提案を議会活動に反映させるべく連携を模索しておりましたが、令和2年度以降は新型コロナウイルス感染症による活動の自粛が続き、新しいメンバーの勧誘等ができず、現在は4年生1名となっております。

当分科会では、新しいメンバーの加入状況等を見守っておりましたが、このまま連携を継続することには、残されたメンバーへの負担をかけ続けることにもなるため、この際連携を中断したいと考えております。

皇學館大学との連携につきましては報告をさせていただきましたが、了承をいただきましたら正式に皇學館大学のほうへ申入れをしたいと考えております。

以上、広聴検討分科会から「皇學館大学との連携について」の報告とさせていただきます。企画調整部会におきましても、当分科会の意向に御賛同いただきますようよろしくお願いいたします。以上です。

◎西山則夫会長

はい、ありがとうございます。

皇學館大学との連携で、今、相手様のほうが1名ということで、以前は数名おったんですけど1名で、対応するにも相談も一人ですることになってくると、かなりしんどいことになるのかなと思います。今、吉岡会長のほうから中断ということで、連携は続けていくことは当然、少しこの活動については中断をさせていただきたいということですので、そのことについてよろしいでしょうか。

御意見ございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

◎西山則夫会長

では、そのことも含めてですね、ただいまの「皇學館大学との連携について」、議会のあり方調査特別委員会で御報告いただいでいくことに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

◎西山則夫会長

はい、御異議なしと認めます。そのように決定をいたします。

次に、「その他」の事項であります。通知にはございませんでしたが、「議会のあり方調査特別委員会の新体制について」を議題といたします。

現在の議会のあり方調査特別委員会の体制につきましては来期、議員定数が変更となることから各分科会の定数を調整する必要があること、また今後、調査・検討が必要な事項を考えたときに、各分科会の体制の見直しが必要と考え、今回、新体制案について提案するものでございます。

内容については事務局から説明いたさせます。

○森田書記

それでは、「議会のあり方調査特別委員会の来期の新体制案について」説明をさせていただきます。

議会のあり方調査特別委員会の現体制は、各分科会「9人以内」となっておりますが、来期の議員定数が24人となり、分科会委員の人数がアンバランスになることが懸念されますので、変更の必要があると考えております。

さらに、条例等検討分科会は当初、議会基本条例、議員政治倫理条例の検討を柱とするため、「条例」という名前がついておりましたが、議会基本条例も議員政治倫理条例も既に制定済みであるため、こちらも変更の必要性があると考えております。

これらのことを考慮いたしまして、「新体制・案」をお示しさせていただきます。

資料2を御覧ください。資料の左側が「現体制」で、右側が「新体制・案」となっております。右側、「新体制・案」を御覧ください。新体制の分科会は、条例等検討分科会改め「議会改革検討分科会または政策等検討分科会」、広報と広聴を一体で検討していくため「広報広聴検討分科会」、現在、広報検討分科会で検討している議会ICT、それに特化した「議会ICT検討分科会」の三つとして、各分科会委員はそれぞれ「8人以内」としております。また、「企画調整部会」ですが、現在は各分科会から報告事項がある際、必ず開催しておりますが、新体制では、報告の際は原則省略とし、新たな検討項目の分科会への付託、各分科会の調整の際等に必要に応じて開催することとしております。

裏面は、現在の状況を踏まえた各分科会における具体的検討項目案です。

以上、議会のあり方調査特別委員会の来期の新体制案です。御検討よろしく申し上げます。

◎西山則夫会長

はい、ありがとうございました。

いずれにしても、次期の体制の中での議会のあり方調査特別委員会ということになります。本来、この名称がいいのかどうかも含めて、本来はあるんですけども、前提として議会のあり方調査特別委員会ということにさせていただいて、今までやってきた3検討分科会の内容を名称も含めて、少し裏面も含めて見ていただきたいと思いますというんですが、そういうことについてこういう考え方で臨ませたいいただきたいというのが事務局の案でございます。

このことについて御質問、御意見等がございましたらお出しをいただきたいと思います。

はい、辻副会長。

○辻孝記条例等分科会副会長

これ、改選後の話ということになりますので、今こういう案内はすごくいいかと思っています。ただ、今この段階で決めるような話ではなくて、このようなことを皆さんがまず認識していただいて、来期への早々の各派代表者会議等でこういったことも話しかけてい

ただいて、新体制を作っていたいただいたほうがいいのかなというふうに思います。

◎西山則夫会長

はい、もちろんですね、今の体制はこれで、11月の末で議会のあり方調査特別委員会は発展的解消ということになるんですけども、もちろん新たな体制が構築された時には新議長以下の中で皆さんで議論していただくのですが、事務局といたしましては、前提としてこういう案で心構えをしてくれませんか、そして中身を検討してくれませんかというのが真意でございますので、今、辻さんが言われたことで尽きると思うんですが、そういう思いでございますので、少し中身について御意見がございましたら。私も昨日見せていただいて、いいかなと思うんですけども、まだ不足するところがあったら、こういうことはどうやということ今、思いつくことがございましたらお出しをいただければありがたいというように思っています。

どうでしょう、よろしいですか。

はい、吉岡会長

○吉岡勝裕広聴検討分科会会長

はい、ありがとうございます。いろいろと変えていくことは必要かなとは思いますが、今回、広報広聴という形で、広報と広聴が一緒になるという案が示されているわけですが、仕事のボリュームを考えると結構いろいろ盛りだくさんになってくるのかなと。今やっているような議会だより、また高校生議会、またアンケートは別にしてですね、議会報告会等を考えると、結構ボリュームが多いのかなと。まあ、やり方もこれから考えたらいいと思えますけども、広報、広聴が一緒になっていくというのはいいことかなとは思いますが、また参考にしながら考えていきたいと思えます。ありがとうございます。

◎西山則夫会長

はい、私もそれは申し添えました。広報、広聴のボリュームというんですかね、課題は時系列を見てもかなり多いなというふうに思うので、そのことは広報広聴の検討分科会をつくるにしても、議会全体でフォローしていく体制がなければできませんので、そういったことも含めてですね、今後皆さんで検討していただきたいというふうに思っています。

他に御発言ございませんでしょうか。

少しいきなりやってんで、戸惑いがあるかも分かりませんが、課題として認識していただいて、これから議論の参考にしていただければありがたいと思えますので、ぜひそういう立場でそれぞれ次の体制の中で、この議会のあり方調査特別委員会を継続していくならばこういう体制でいくということについての御認識合わせを共有していただければと思うんですが、その他よろしいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

◎西山則夫会長

では、事務局から提案のありました内容について、議会のあり方調査特別委員会の全体会でこのことについて提案をさせていただきますので、そのことについてはよろしいでござ

ごいましょうか。よろしいですか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

◎西山則夫会長

はい、御異議なしと認めます。そのように決定させていただきました。

以上で、本日もご協議願います案件は終了いたしましたので、これをもちまして企画調整部会を終わらせていただきます。

ありがとうございました。

閉会 午前11時15分

上記署名する。

令和3年9月17日

会長 西山 則夫